

相模原市立市民会館条例施行規則

昭和40年10月9日

規則第51号

改正 昭和41年3月31日規則第23号

昭和41年6月14日規則第28号

昭和42年4月1日規則第16号

昭和43年4月25日規則第33号

昭和43年9月25日規則第43号

昭和44年3月29日規則第9号

昭和44年6月30日規則第34号

昭和45年9月29日規則第38号

昭和45年12月21日規則第45号

昭和46年8月18日規則第39号

昭和49年3月12日規則第4号

昭和50年3月27日規則第4号

昭和51年4月1日規則第26号

昭和51年9月30日規則第44号

昭和53年3月27日規則第7号

昭和55年2月26日規則第5号

昭和55年9月12日規則第55号

昭和57年3月27日規則第12号

昭和58年4月20日規則第26号

昭和59年3月28日規則第8号

昭和60年3月25日規則第7号

昭和61年3月31日規則第19号

昭和61年10月1日規則第53号

平成2年2月20日規則第6号

平成4年8月15日規則第35号

平成8年12月19日規則第55号

平成 10 年 3 月 26 日規則第 10 号
平成 12 年 1 月 14 日規則第 3 号
平成 12 年 10 月 1 日規則第 112 号
平成 13 年 3 月 30 日規則第 47 号
平成 13 年 12 月 25 日規則第 86 号
平成 14 年 3 月 27 日規則第 18 号
平成 14 年 12 月 24 日規則第 81 号
平成 15 年 3 月 14 日規則第 27 号
平成 17 年 6 月 30 日規則第 56 号
平成 18 年 2 月 1 日規則第 5 号
平成 23 年 4 月 1 日規則第 40 号
平成 25 年 12 月 13 日規則第 102 号
平成 26 年 9 月 26 日規則第 84 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、相模原市立市民会館条例(昭和 40 年相模原市条例第 26 号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定める。

(利用申請受付時間)

第 2 条 市民会館(以下「会館」という。)の利用に係る申請の受付時間は、開館日の午前 8 時 30 分から午後 6 時までとする。ただし、利用当日における利用の承認を受けた時間(以下「承認時間」という。)の延長及び附属設備、器具等の追加利用等に係る受付にあつては、この限りでない。

2 前項本文の規定にかかわらず、指定管理者が必要と認めるときは、会館の利用に係る申請の受付時間を延長することができる。

(全部改正〔平成 17 年規則 56 号〕、一部改正〔平成 18 年規則 5 号〕)

(利用承認申請手続)

第 3 条 条例第 5 条第 1 項の規定により会館の利用の承認を受けようとする者(承認された事項の変更をしようとする者を除く。以下「利用申請者」という。)は、相模原市民会館にあつては相模原市民会館利用承認申請書を、相模原南市民ホールにあつては相模原南市民ホール利用承認申請書を指定管理者に提出しなければ

ならない。

- 2 指定管理者は、前項の場合において必要があると認めるときは、利用申請者に必要な書類の提出を求めることができる。
- 3 相模原市民会館利用承認申請書又は相模原南市民ホール利用承認申請書(以下「利用承認申請書」という。)は、相模原市民会館にあつては別表第1に、相模原南市民ホールにあつては別表第2に定める受付期間内に提出しなければならない。
- 4 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、同項に規定する受付期間外においても利用承認申請書を提出することができる。
 - (1) 市が主催する行事等のために利用するとき。
 - (2) 指定管理者が条例第21条の規定により行う同条第7号の事業のために利用するとき。
 - (3) 公益財団法人相模原市民文化財団が主催し、又は共催する芸術文化事業で利用するとき。
 - (4) 国際的な催し等で利用する場合で、前項に規定する受付期間前に利用の申請をしなければその開催に支障があると指定管理者が認めたとき。
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が、公用又は公共のためその他の理由により特に必要があると認め、市長の承認を得たとき。
 - (6) 会館の運営上支障がないと指定管理者が認めるとき(前項に規定する受付期間後に限る。)。

(一部改正〔昭和49年規則4号・50年4号・51年26号・44号・57年12号・平成2年6号・8年55号・10年10号・12年3号・13年47号・86号・17年56号・23年40号・25年102号・26年84号〕)

(利用承認等)

第4条 指定管理者は、前条の規定による利用承認申請書の提出があつた場合において、その利用を、承認するときは / 相模原市民会館 / 相模原南市民ホール / 利用承認通知書(以下「利用承認通知書」という。)により、承認しないときはその旨を利用申請者に通知するものとする。

- 2 前項の規定による利用の承認は、申請の順序に従つて行い、申請が同時の場合

は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。ただし、指定管理者が、公用又は公共のためその他の理由により特に必要があると認め、市長の承認を得たときは、この限りでない。

- 3 利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、利用の際、利用承認通知書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(一部改正〔昭和57年規則12号・平成8年55号・10年10号・12年3号・13年47号・14年81号・17年56号・25年102号・26年84号〕)

(利用料金の後納)

- 第5条 条例第6条第4項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができる場合は、国又は地方公共団体が利用する場合その他指定管理者が特に必要があると認める場合とする。この場合において、利用者は、指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

(追加〔平成14年規則18号〕、一部改正〔平成14年規則18号・17年56号・26年84号〕)

(特別な設備等の承認申請手続)

- 第6条 条例第11条の規定により特別な設備等の承認を受けようとする利用者は、
/ 相模原市民会館 / 相模原南市民ホール / 特別設備等承認申請書(以下「特別設備等承認申請書」という。)を指定管理者に提出しなければならない。

- 2 指定管理者は、前項の規定による特別設備等承認申請書の提出があつた場合において、その特別な設備等を、承認するときは / 相模原市民会館 / 相模原南市民ホール / 特別設備等承認通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(全部改正〔平成17年規則56号〕、一部改正〔平成26年規則84号〕)

(販売行為等許可申請手続)

- 第7条 条例第13条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとする者は、
/ 相模原市民会館 / 相模原南市民ホール / 販売行為等許可申請書(以下「販売行為等許可申請書」という。)を指定管理者に提出しなければならない。

- 2 指定管理者は、前項の規定による販売行為等許可申請書の提出があつた場合に

において、その販売行為等を、許可するときは / 相模原市民会館 / 相模原南市民ホール / 販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(追加〔平成 12 年規則 3 号〕、一部改正〔平成 13 年規則 47 号・14 年 18 号・17 年 56 号・26 年 84 号〕)

(利用の取消し及び承認事項変更の手続)

第 8 条 利用者は、会館の利用の取消し(利用日、利用施設又は承認時間を変更する場合における従前の利用日、利用施設又は承認時間の全部又は一部の取消しを含む。以下同じ。)又は承認された事項の変更(承認時間の延長及び繰上げを除く。以下「承認事項変更」という。)をしようとするときは、 / 相模原市民会館 / 相模原南市民ホール / 利用承認取消(変更)申請書(以下「利用承認取消(変更)申請書」という。)に利用承認通知書その他関係書類を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

2 指定管理者は、前項の規定による利用承認取消(変更)申請書の提出があつた場合において、利用の取消し又は承認事項変更を、承認するときは / 相模原市民会館 / 相模原南市民ホール / 利用承認取消(変更)決定通知書(以下「利用承認取消(変更)決定通知書」という。)により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。この場合において、利用者は、承認事項変更の承認により既に納付した利用料金(以下「既納利用料金」という。)に不足を生じたときは、指定管理者に当該不足分を直ちに納付しなければならない。

(全部改正〔平成 12 年規則 3 号〕、一部改正〔平成 13 年規則 47 号・86 号・14 年 18 号・81 号・17 年 56 号・26 年 84 号〕)

(承認時間)

第 9 条 承認時間には、準備及び後始末に要する時間を含むものとする。

(全部改正〔平成 12 年規則 3 号〕、一部改正〔平成 17 年規則 56 号・26 年 84 号〕)

(承認時間の延長等)

第 10 条 利用者は、やむを得ず承認時間を延長し、又は繰上げして利用しようとするときは、承認時間終了又は承認時間開始の 1 時間前(午前 9 時からの利用に係

る繰上げにあつては、30分前)までに、/相模原市民会館/相模原南市民ホール/承認時間延長等承認申請書(以下「承認時間延長等申請書」という。)に利用承認通知書及び承認事項変更の承認を受けている場合は、利用承認取消(変更)決定通知書を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

2 指定管理者は、前項の規定による承認時間延長等申請書の提出があつた場合において、承認時間の延長又は繰上げを、承認するときは/相模原市民会館/相模原南市民ホール/承認時間延長等承認通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。この場合において、承認時間の延長又は繰上げの承認を受けた利用者は、指定管理者に当該延長又は繰上げの時間に係る利用料金を直ちに納付しなければならない。

3 承認時間の延長及び繰上げは、1時間を限度とする。ただし、午後10時後の承認時間の延長にあつては、この限りでない。

(全部改正〔平成12年規則3号〕、一部改正〔平成13年規則47号・86号・14年18号・81号・17年56号・26年84号〕)

(舞台技術の援助)

第11条 指定管理者は、市民又は市内の学校、保育所、文化事業団体等がホールで発表会その他催しを行う場合で、指定管理者が適当と認めるものについては、その催しに関する照明その他に関する技術的な援助をすることができる。

(一部改正〔昭和57年規則12号・平成12年3号・17年56号・26年84号〕)

(利用料金の減免)

第12条 条例第6条第3項の規定による利用料金の減額又は免除は、入場料その他これに類する料金を徴収しない場合であつて、次の各号に掲げるときに、当該各号に定める率により行う。

(1) 指定管理者が条例第21条の規定により行う同条第7号の事業のために利用するとき。 100パーセント

(2) 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項の規定により利用料金の減額又は免除を受けようとする利用者は、指定管

理者が別に定める方法により、指定管理者に減額又は免除の申請をするものとする。

(一部改正〔昭和50年規則4号・57年12号・平成2年6号・8年55号・10年10号・12年3号・13年47号・14年18号・81号・15年27号・17年56号・26年84号〕)

(利用料金の還付)

第13条 条例第7条ただし書の規定による既納利用料金の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- (1) 災害その他利用者の責めによらない理由により利用することができなくなつたとき。 既納利用料金の100パーセント
- (2) 利用日の180日前までに相模原市民会館又は相模原南市民ホールのホテルの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント
- (3) 利用日の60日前までに相模原市民会館又は相模原南市民ホールのホテルの利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント
- (4) 利用日の30日前までに相模原市民会館の会議室等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の80パーセント
- (5) 利用日の7日前までに相模原市民会館の会議室等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 既納利用料金の50パーセント
- (6) 附属設備、器具等の利用の取消しを申請し、指定管理者の承認を得たとき。 利用料金の100パーセント
- (7) 利用の変更の承認(相模原市民会館のホールの客席数変更(ホールを仕切つて800席未満にすることをいう。))の承認にあつては、利用日の7日前までに申請があつたものに限る。)により、既納利用料金が過納となつたとき。 既納利用料金のうちの過納額の100パーセント
- (8) 指定管理者が特に必要があると認めた場合で市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項第2号から第5号まで及び第7号に規定する期限の末日が、休館日に当た

るときは、その直後の開館日を当該期限の末日とする。

- 3 第1項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。

(一部改正〔昭和57年規則12号・平成8年55号・10年10号・12年3号・13年47号・14年18号・17年56号〕)

(利用の打合せ等)

- 第14条 利用者は、会館の利用について、事前に係員と利用方法その他必要な事項を打ち合わせなければならない。

- 2 利用者は、指定管理者から関係資料の提出を求められたときは、これを提出しなければならない。

(一部改正〔昭和57年規則12号・平成10年10号・13年47号・14年18号・17年56号・26年84号〕)

(整理員の配置)

- 第15条 利用者は、会館の利用に当たり、会館内外の秩序保持のため必要な整理員を置かなければならない。

(一部改正〔平成10年規則10号・14年18号・81号・17年56号〕)

(遵守事項)

- 第16条 利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 定員を超えて入場させないこと(利用者に限る。)。
- (2) 承認された以外の施設、附属設備、器具等を利用しないこと。
- (3) 許可なく建物等にはり紙をし、又はくぎ類を打ち込まないこと。
- (4) 会館の器具等を会館外に持ち出さないこと。
- (5) 許可なく火気を使用しないこと。
- (6) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたもの)に限る。)を除く。)を持ち込まないこと。
- (7) 許可なく所定の場所以外の場所で、飲食し、又は喫煙をしないこと。

(8) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いるなど他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(9) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔昭和 5 7 年規則 1 2 号・平成 1 0 年 1 0 号・1 2 年 3 号・1 3 年 4 7 号・1 4 年 1 8 号・8 1 号・1 7 年 5 6 号・2 6 年 8 4 号〕)

(職務上の立入)

第 1 7 条 指定管理者は、会館の管理上必要と認めたときは、係員を利用の承認をしている施設又は附属設備に立ち入らせることができる。この場合において、利用者は、当該係員の立入りを拒むことができない。

(全部改正〔平成 1 3 年規則 4 7 号〕、一部改正〔平成 1 4 年規則 1 8 号・1 7 年 5 6 号〕)

(損傷等の届出)

第 1 8 条 利用者は、会館の施設、附属設備、器具等を損傷し、又は滅失させたときは、直ちにその旨を指定管理者に届け出なければならない。

(全部改正〔平成 1 3 年規則 4 7 号〕、一部改正〔平成 1 4 年規則 1 8 号・1 7 年 5 6 号〕)

(利用後の点検)

第 1 9 条 利用者は、会館及び附属設備の利用を終了したときは、直ちに係員にその旨を告げ、点検を受けなければならない。

(一部改正〔平成 1 0 年規則 1 0 号・1 2 年 3 号・1 4 年 1 8 号・1 7 年 5 6 号〕)

(様式)

第 2 0 条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成 2 6 年規則 8 4 号〕)

(委任)

第 2 1 条 この規則に定めるもののほか、会館の管理について必要な事項は、別に定める。

(一部改正〔昭和 5 0 年規則 4 号・5 8 年 2 6 号・6 1 年 1 9 号・平成 8 年 5 5 号・1 0 年 1 0 号・1 2 年 3 号・1 4 年 1 8 号・8 1 号・1 7 年 5 6

号・26年84号))

附 則

この規則は、昭和40年11月21日から施行する。ただし、第4条から第16条までの規定は、昭和40年10月10日から施行する。

附 則(昭和41年3月31日規則第23号)

- 1 この規則は、昭和41年4月1日から施行する。
- 2 改正前の規定によつて定められた様式の用紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(昭和41年6月14日規則第28号)

この規則は、昭和41年6月15日から施行する。

附 則(昭和42年4月1日規則第16号)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 この規則施行日以後に市民会館の使用をする者のうちで、改正前の規定により使用料(減免措置を含む。以下同じ。)の決定を受けているものは、使用前に限り、申請により当該使用料について、改正後の規定の適用を受けることができる。
- 3 改正前の規定によつて定められた様式の用紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をし、使用することができる。

附 則(昭和43年4月25日規則第33号)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 改正前の規定によつて定められた様式の用紙で現に残存するものについては、所要の修正をし、使用することができる。

附 則(昭和43年9月25日規則第43号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和44年3月29日規則第9号)

この規則は、昭和44年4月1日から施行する。

附 則(昭和44年6月30日規則第34号)

この規則は、昭和44年7月1日から施行する。ただし、別表第1に係る改正規定は、昭和44年9月1日から施行する。

附 則(昭和45年9月29日規則第38号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和45年12月21日規則第45号)

この規則は、昭和46年1月1日から施行する。

附 則(昭和46年8月18日規則第39号)

この規則は、昭和46年9月1日から施行する。

附 則(昭和49年3月12日規則第4号)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 この規則による改正後の相模原市立市民会館条例施行規則第4条第3項の規定は、この規則施行の日以後の申請から適用する。

附 則(昭和50年3月27日規則第4号)

- 1 この規則は、昭和50年4月1日から施行する。
- 2 改正後の相模原市立市民会館条例施行規則の規定による会議室に係る会館の使用許可申請手続きについては、この規則施行の日前においても行なうことができる。
- 3 この規則の公布の日の前日までに、改正前の相模原市立市民会館条例施行規則の規定により行なわれたこの規則の施行の日以後の会議室に係る会館の使用許可申請手続きについては、改正後の相模原市立市民会館条例施行規則の相当規定により行なわれたものとみなす。

附 則(昭和51年4月1日規則第26号)

改正 昭和51年9月30日規則第44号

- 1 この規則は、昭和51年10月1日から施行する。ただし、別表第1の改正規定は、昭和52年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の相模原市立市民会館条例施行規則別表第1の規定の適用については、昭和52年4月1日から昭和52年8月31日までの間に限り、同表中「

ホール、会議室、講習室、楽屋及び浴室の使用区分

区分	午前	午後	夜間	昼間	昼夜	全日
時間	時 時	時 時	時 時	時 時	時 時	時 時
	9 ~ 12	13 ~ 17	18 ~ 22	9 ~ 17	13 ~ 2	9 ~ 22

」とあるのは、「

(1) ホール、会議室、講習室、楽屋及び浴室の使用区分

区分	午前	午後	夜間	昼間	昼夜	全日
時間	時 時 9 ~ 1 2	時 時 1 3 ~ 1 7	時 時 1 8 ~ 2 2	時 時 9 ~ 1 7	時 時 1 3 ~ 2 2	時 時 9 ~ 2 2

(2) 結婚式関係諸室の使用区分

区分 \ 室名	控室	結婚式場	披露宴室
1 コース	時 時 分 9 ~ 1 1 5 0	時 分 時 分 9 2 0 ~ 9 5 0	時 分 時 分 1 0 1 0 ~ 1 1 4 0
2 コース	時 時 分 1 0 ~ 1 2 5 0	時 分 時 分 1 0 2 0 ~ 1 0 5 0	時 分 時 分 1 1 1 0 ~ 1 2 4 0
3 コース	時 時 分 1 1 ~ 1 3 5 0	時 分 時 分 1 1 2 0 ~ 1 1 5 0	時 分 時 分 1 2 1 0 ~ 1 3 4 0
4 コース	時 時 分 1 2 ~ 1 4 5 0	時 分 時 分 1 2 2 0 ~ 1 2 5 0	時 分 時 分 1 3 1 0 ~ 1 4 4 0
5 コース	時 時 分 1 3 ~ 1 5 5 0	時 分 時 分 1 3 2 0 ~ 1 3 5 0	時 分 時 分 1 4 1 0 ~ 1 5 4 0
6 コース	時 時 分 1 4 ~ 1 6 5 0	時 分 時 分 1 4 2 0 ~ 1 4 5 0	時 分 時 分 1 5 1 0 ~ 1 6 4 0
7 コース	時 時 分 1 5 ~ 1 7 5 0	時 分 時 分 1 5 2 0 ~ 1 5 5 0	時 分 時 分 1 6 1 0 ~ 1 7 4 0

		5 0	4 0
8 コース	時 時 分 1 6 ~ 1 8 5 0	時 分 時 分 1 6 2 0 ~ 1 6 5 0	時 分 時 分 1 7 1 0 ~ 1 8 4 0

」とする。

- 3 昭和51年10月1日前に、同日以後の使用の許可を受ける者に係る付属設備並びに冷房及び暖房設備の使用料については、この規則による改正後の相模原市立市民会館条例施行規則の規定を適用する。

附 則(昭和51年9月30日規則第44号)

(施行期日)

- 1 この規則は、昭和52年4月1日から施行する。ただし、第2条の改正規定は、昭和52年9月1日から、附則第2項の改正規定中附則第1項中「第2号」を削る部分は、昭和51年10月1日から施行する。

(相模原市立市民会館条例施行規則の一部を改正する規則の一部改正)

- 2 相模原市立市民会館条例施行規則の一部を改正する規則(昭和51年相模原市規則第26号)の一部を次のように改正する。

別表第1及び別表第2を次のように改める改正規定中別表第1に係る部分を次のように改める。

別表第1(第2条関係)

ホール、会議室、講習室、楽屋及び浴室の使用区分

区分	午前	午後	夜間	昼間	昼夜	全日
時間	時 時	時 時	時 時	時 時	時 時	時 時
	9 ~ 1 2	1 3 ~ 1 7	1 8 ~ 2 2	9 ~ 1 7	3 ~ 2 2	9 ~ 2 2

附則第1項中「第2号」を削る。

附則第2項を附則第3項とし、附則第1項の次に次の1項を加える。

- 2 この規則による改正後の相模原市立市民会館条例施行規則別表第1の規定の適用については、昭和52年4月1日から昭和52年8月31日までの間に限り、同表中「

ホール、会議室、講習室、楽屋及び浴室の使用区分

区分	午前	午後	夜間	昼間	昼夜	全日
時間	時 時 9 ~ 1 2	時 時 1 3 ~ 1 7	時 時 1 8 ~ 2 2	時 時 9 ~ 1 7	時 時 1 3 ~ 2 2	時 時 9 ~ 2 2

」とあるのは、「

(1) ホール、会議室、講習室、楽屋及び浴室の使用区分

区分	午前	午後	夜間	昼間	昼夜	全日
時間	時 時 9 ~ 1 2	時 時 1 3 ~ 1 7	時 時 1 8 ~ 2 2	時 時 9 ~ 1 7	時 時 1 3 ~ 2 2	時 時 9 ~ 2 2

(2) 結婚式関係諸室の使用区分

区分 \ 室名	控室	結婚式場	披露宴室
1 コース	時 時 分 9 ~ 1 1 5 0	時 分 時 分 9 2 0 ~ 9 5 0	時 分 時 分 1 0 1 0 ~ 1 1 4 0
2 コース	時 時 分 1 0 ~ 1 2 5 0	時 分 時 分 1 0 2 0 ~ 1 0 5 0	時 分 時 分 1 1 1 0 ~ 1 2 4 0
3 コース	時 時 分 1 1 ~ 1 3 5 0	時 分 時 分 1 1 2 0 ~ 1 1 5 0	時 分 時 分 1 2 1 0 ~ 1 3 4 0
4 コース	時 時 分 1 2 ~ 1 4 5 0	時 分 時 分 1 2 2 0 ~ 1 2 5 0	時 分 時 分 1 3 1 0 ~ 1 4 4 0
5 コース	時 時 分 1 3 ~ 1 5 5 0	時 分 時 分 1 3 2 0 ~ 1 3 5 0	時 分 時 分 1 4 1 0 ~ 1 5 4 0
6 コース	時 時 分 1 4 ~ 1 6 5 0	時 分 時 分 1 4 2 0 ~ 1 4 4 0	時 分 時 分 1 5 1 0 ~ 1 6 4 0

		5 0	4 0
7 コース	時 時 分 1 5 ~ 1 7 5 0	時 分 時 分 1 5 2 0 ~ 1 5 5 0	時 分 時 分 1 6 1 0 ~ 1 7 4 0
8 コース	時 時 分 1 6 ~ 1 8 5 0	時 分 時 分 1 6 2 0 ~ 1 6 5 0	時 分 時 分 1 7 1 0 ~ 1 8 4 0

」とする。

附 則(昭和53年3月27日規則第7号)

この規則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則(昭和55年2月26日規則第5号)

この規則は、昭和55年3月26日から施行する。

附 則(昭和55年9月12日規則第55号)

この規則は、昭和55年9月14日から施行する。

附 則(昭和57年3月27日規則第12号)

- 1 この規則は、昭和57年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の相模原市立市民会館条例施行規則別表第2の規定は、昭和57年10月1日以後の付属設備の使用に係る使用料から適用し、同日前の付属設備の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(昭和58年4月20日規則第26号)

この規則は、相模原市立市民会館条例の一部を改正する条例(昭和58年相模原市条例第14号)の施行の日から施行する。

附 則(昭和59年3月28日規則第8号)

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則(昭和60年3月25日規則第7号)

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則(昭和61年3月31日規則第19号)

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則(昭和61年10月1日規則第53号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成 2 年 2 月 2 0 日規則第 6 号)

この規則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 4 年 8 月 1 5 日規則第 3 5 号)

この規則は、平成 4 年 1 0 月 1 日から施行する。

附 則(平成 8 年 1 2 月 1 9 日規則第 5 5 号)

- 1 この規則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表第 1 及び別表第 2 の規定は、平成 9 年 1 0 月 1 日以後の使用に係る使用料から適用し、同日前の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成 1 0 年 3 月 2 6 日規則第 1 0 号)

- 1 この規則は、平成 1 0 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の相模原市立市民会館条例施行規則(以下「新規則」という。)第 1 1 条第 1 項及び別表第 3 の規定は、平成 1 0 年 1 0 月 1 日以後に係る利用から適用し、同日前の利用については、なお従前の例による。
- 3 新規則第 1 5 条第 1 項の規定は、平成 1 1 年 7 月 1 日以後に係る利用から適用し、同日前の利用については、なお従前の例による。
- 4 新規則別表第 1 中ホールについての規定は平成 1 1 年 7 月 1 日以後に係る利用から、会議室及び講習室についての規定は平成 1 0 年 1 0 月 1 日以後に係る利用から適用し、同日前の利用については、なお従前の例による。
- 5 この規則の施行の際現に改正前の相模原市立市民会館条例施行規則の規定により定められた様式の用紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成 1 2 年 1 月 1 4 日規則第 3 号)

- 1 この規則は、平成 1 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 1 1 条、第 1 3 条、第 1 5 条第 1 項及び別表第 1 から別表第 4 までの規定は、平成 1 3 年 4 月 1 日以後のホール及び会議室等に係る利用から適用し、同日前のホール及び会議室等に係る利用については、なお従前の例による。
- 3 この規則の施行の際現に改正前の相模原市立市民会館条例施行規則の規定によ

り定められた様式の出紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成12年10月1日規則第112号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年3月30日規則第47号抄)

- 1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成13年12月25日規則第86号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成14年3月27日規則第18号抄)

- 1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に改正前の相模原市立市民会館条例施行規則、相模原市立文化会館条例施行規則及び相模原市立杜^{もり}のホールはしもと条例施行規則の規定により定められた様式の出紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成14年12月24日規則第81号)

- 1 この規則は、平成15年1月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に改正前の相模原市立市民会館条例施行規則の規定により定められた様式の出紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成15年3月14日規則第27号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年6月30日規則第56号)

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
(経過措置)
- 2 この規則による改正後の相模原市立市民会館条例施行規則(以下「新規則」という。)の規定(新規則第12条の規定を除く。)は、平成18年4月1日以後の相模原市立市民会館の管理について適用し、同日前の相模原市立市民会館の管理については、なお従前の例による。

3 新規則第12条の規定は、平成18年4月1日以後に行う利用料金の減免について適用し、同日前に行う利用料金の減免については、なお従前の例による。

附 則(平成18年2月1日規則第5号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成23年4月1日規則第40号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年12月13日規則第102号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成26年9月26日規則第84号)

この規則は、公布の日から施行する。

別表第1(第3条関係)

(追加〔平成10年規則10号〕、一部改正〔平成12年規則3号・112号・13年86号・14年81号・17年56号・18年5号〕)

申請区分		受付期間			
		市内在住者及び市内の団体		市外在住者及び市外の団体	
		始期	終期	始期	終期
ホール 利用承認申請	ホール	利用日の属する月の12月前の月の初日	利用日前10日	利用日の属する月の11月前の月の初日	利用日前10日
	舞台のみ利用	利用日前2月 (仕込みのために利用するときは、ホール利用承認申請日)	利用日前3日	利用日前2月 (仕込みのために利用するときは、ホール利用承認申請日)	利用日前3日
楽屋等附属設備の利用承認申請		ホール利用承認申請日	利用日	ホール利用承認申請日	利用日
会議室及び講習室等の利用承認申請		利用日の属する月の6月前の月の初日	利用日	利用日の属する月の3月前の月の初日	利用日

備考

- 1 市内の団体とは、市内に事業所を有する団体をいい、市外の団体とは、それ以外のものをいう。
- 2 始期又は終期が、休館日に当たるときは、その直後の開館日を当該始期又は終期とする。
- 3 引き続き2日以上利用しようとする場合は、その最初の日を利用日とする。

別表第2(第3条関係)

(追加〔平成10年規則10号〕、一部改正〔平成12年規則3号・112号・17年56号〕)

申請区分		受付期間			
		市内在住者及び市内の団体		市外在住者及び市外の団体	
		始期	終期	始期	終期
ホール 利用承認申請	ホール	利用日の属する月の12月前の月の初日	利用日前10日	利用日の属する月の11月前の月の初日	利用日前10日
	舞台のみ利用	利用日前1月 (仕込みのために利用するときは、ホール利用承認申請日)	利用日前3日	利用日前1月 (仕込みのために利用するときは、ホール利用承認申請日)	利用日前3日
楽屋等附属設備の利用承認申請		ホール利用承認申請日	利用日	ホール利用承認申請日	利用日

備考

- 1 市内の団体とは、市内に事業所を有する団体をいい、市外の団体とは、それ以外のものをいう。
- 2 始期又は終期が、休館日に当たるときは、その直後の開館日を当該始期又は終期とする。
- 3 引き続き2日以上利用しようとする場合は、その最初の日を利用日とする。